

今回のテーマ

肺炎について

前は「体臭」についてご案内させていただきましたが、今回は「肺炎」についてお伝えいたします。「肺炎」は、日本人の死因第3位の疾患です。しかも、「肺炎」によって亡くなる方の実に95%が65歳以上となっています。

日本における主な死因		
1位	悪性新生物(がん)	364,872人
2位	心疾患(心不全など)	196,723人
3位	肺炎	122,969人
4位	脳血管疾患(脳梗塞など)	118,347人

風邪をこじらせたら「肺炎」になる??

一般的にこんなイメージをお持ちの方も多いのではないのでしょうか?しかし風邪をひかなくても、「肺炎」になることがあります。「肺炎」は、細菌やウィルスの感染が原因となる病気です。元気な65歳以上の方が日常でかかりやすい「肺炎」は肺炎球菌による「肺炎」です。からだの抵抗力(免疫力)が弱まった時などに感染を起こしやすく、症状が重くなると、命にかかわる危険性もあるのです。

⇒からだの抵抗力が弱まる原因

- * 風邪をひく
- * 加齢による体力低下
- * インフルエンザにかかる
- * 糖尿病・呼吸器・心臓疾患

＜肺炎予防のために出来ること＞

- ① 毎日の感染予防
うがい・手洗い・マスクの着用。歯磨きなどで、口内を清潔にする。
- ② からだの免疫力を高める
禁煙。規則正しい生活をする。持病の治療につとめる。
- ③ 成人病肺炎球菌、インフルエンザの予防接種を受ける

65歳以上の死亡原因の96.9%が「肺炎」というのは驚きの事実です。

65歳という年齢は、まだまだ元気な世代です。

はつらつとした健康的な毎日を送っている人でも、ちょっとしたきっかけでかかってしまう疾患です。

しっかり自分自身で予防を行ないたいですね。

昨年度から「予防接種法」という法律に基づき市町村が「定期接種」を実施しています。法的な義務はありません。自身の意思で接種を希望する人へのみ接種を行なうものです。成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種については、対象の期間内に保健所や市町村の契約医療機関で接種を受ける場合、公費の助成が受けられます。

今年度に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方が対象です。

ご興味を持たれた方は、本格的に冬が訪れる前に、市町村にご確認されるのもよいかと思います。

現在の保険の内容があっているのかご確認いただけたら幸いです。内容等詳細については、具体的な相談に応じますので、お気軽に声をかけてみてください。